

# 「心豊かな人生を歩むために」

鹿児島県立伊集院高等学校

三年

落合 おちあい

菜央 なお

「ああ、眠れない。どうしよう。寝ないとダメなのに。」

明日は人生の中で二回目の手術の日。高校二年生の秋、小さい頃から聞こえが悪かった左耳を手術することになって、私は緊張で眠れない夜を過ごしました。

そして次の日の朝。

「おはようございます。今日の手術頑張りますよね。」

担当の看護師に優しく声を掛けられて、点滴をしたまま手術室に向かいました。中に入ると、普段目にしないような器具や照明、緊張と感情の高ぶり、そうした様々なものが混ざり合い、私は感じたことのない、複雑で不安な気持ちになりました。そんな気持ちに気付いたのか、一人の看護師が、

「みんないるから大丈夫だからね。頑張ろうね。」

と声をかけて下さって私が安心したのもつかの間、気付くと手術は終わっていました。ただ、終わった後はものすごく体がきつく起きて上がることができず、また、麻酔のせいか自分の状態もよくわからなくて、しばらくはまるで違う世界にいるような、記憶が朦朧とした状態が続きました。

そして翌日。

「ママ見て。たくさん車が通ってる。」

病室には、いつの間にか四歳の男の子が新しい患者として入ってきていて、賑やかになっ

ていました。術後は耳が痛くて何もしたくない日々が続いたのですが、けなげに病気と闘っているその男の子を見ると、私もつらくても頑張ろうという気持ちになれました。

また、毎日家族や友人がお見舞いに来てくれて、多くの人から元気をもらい、日に日に体調が良くなって、退院の日を迎えることができました。

今現在の私は、耳の聞こえが良くなって、高校最後の一年を、前よりも会話の時間を楽しみながら過ごしています。以前は会話することをおっくうに感じたり、時には避けたりするなど、消極的になることもありましたが、今はこの「耳の健康」を取り戻せたことで、何事も前向きに取り組める「心の健康」も取り戻せたような気がしています。さらにその「心の健康」が、人とのコミュニケーション、触れ合いをも引き寄せて、私の今の明るい学校生活があるのだと思います。

私は今回の経験から、「健康」とは身体の問題だけではないということ、心の健康も共にあるのだということ、そして心身共に健康にあることの先には、人との関わりや豊かな社会生活があるのだと実感しました。だから私は、これから先も健康であることを大切に、将来は社会に貢献できるような職業に就いて、人と関わりながら、心豊かな人生を歩んでいきたいと思えます。